

・「OCEAN！海はモンスターでいっぱい」に水産研究所が出展

2011 年 12 月 23 日から今年 3 月 4 日まで、岡山市デジタルミュージアムで「OCEAN！海はモンスターでいっぱい」が開催されている。化石と今を生きている生きものを通して、海という進化の舞台をみつめる特別展で、昔も今も海は様々な環境に適応した魅力あふれる生きものたちでいっぱいだ。この特別展で、1 月 24 日から 29 日までの間、農林水産総合センター水産研究所はミニ展示を行った。



会場の標本展示

展示では、岡山の四季を彩る魚介類やその旬、温暖化が海の生きものに与える影響、海の生きものの一生と姿形の変化のほか、水産研究所の業務の一端をパネルや DVD で紹介した。また、1 月 28 日はワークショップを開催し、多くの魚が子供の時期には親と形が異なり、成長とともに変わること、それに伴い生活場所、食べ物、行動なども変化することなど、魚の変態がダイナミックであることを紹介した。参加者した親子連れも生命の神秘に驚いていた。

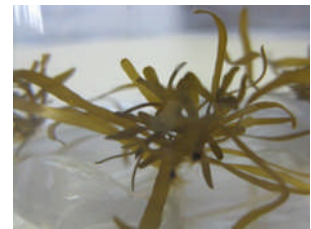
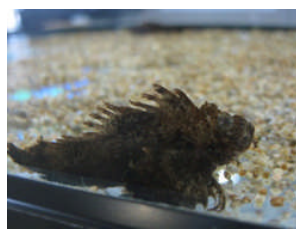
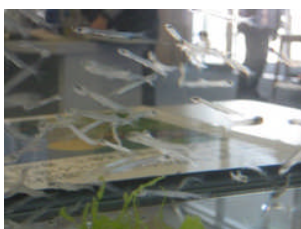
海の中ではいろいろな生きものが関わり合って生きている。しかし、人間のさまざまな活動で海的环境が変化し、生きものが快適に生活できる環境は少なくなりつつある。この企画が、私たちの目の前に広がる美しい瀬戸内海とそこに暮らす生きものたちを守るため、私たちにできることを考えるきっかけになれば幸いである。（開発利用室：萱野）



水産研究所ミニ展示会場



ワークショップの様子



水産研究所で育てた生きものの展示（左からアユ仔魚、オニオコゼ、ガザミ、タマハハキモク）